

ゆかいな宇宙船（うちゅうせん）



このこうさくでつかうボンド

- ・ボンド 木工用（もっこうよう）
- ・ボンド ウルトラ多用途（たようと）S・U クリヤー
- ・ボンド アロンアルファEXTRA速効多用途（そっこうたようと）

よういするもの

「ボンド 木工用（もっこうよう）」

「ボンド ウルトラ多用途（たようと）S・U クリヤー」

「ボンド アロンアルファEXTRA速効多用途（そっこうたようと）」

カップめんの容器（ようき） 2つ
※同じ大きさのもの

アルミのボトルキャップ 直径（ちよっけい）約（やく）3cm：4つ、直径
約（やく）4cm：1つ

大きめのスチロールよこ皿（ざら） 2つ
（たて20cm、よこ20cm以上（いじょう））
※白でなく、色（いろ）のついたものでもいい。大きいものがなければ、小さいものをいくつか用意しよう。

曲（ま）がるストロー 10本

セロハン

ゴムボール：黄色（きいろ） 2つ
直径（ちよっけい）3cm

ゴムボール：ピンク 1つ
直径（ちよっけい）2cm

スプレー塗料（とりよう）：こげ茶色（ちゃいろ）、金色（きんいろ）
※発泡（はっばう）スチロールやプラスチックに使用（しよう）できるスプレーを
用意しよう。

豆（まめ）でんきゅう（2.5V（ボルト））

導線（どうせん）つきソケット

かん電池（でんち）：単（たん）3 2つ

スイッチつき かん電池（でんち）用（よう）電池（でんち）ボックス
〔単（たん）3・2本（ほん）用（よう）〕

ラインストーン

油性（ゆせい）ペン、せんたくばさみ、ビニール手ぶくろ、段（だん）ボール箱（ばこ）、セロハンテープなど

※保護者の方へ

接着剤は、説明書をよく読んでからお使いください。
またカッターなどを使うときは、気をつけて作業してください。

使うときの注意

- ・目や口に入ってしまったら、水でよく洗い、お医者さんに相談してください。
- ・皮つや手についたときは、すぐに拭きとって、せっけんと水またはお湯でよく洗い落としてください。

宇宙船（うちゅうせん）の足をつくる

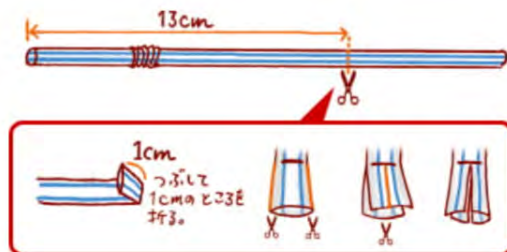
- 1つのカップめんの容器（ようき）に、直径（ちよっけい）3cmのアルミのボトルキャップをつかって丸（まる）い穴（あな）をあける。キャップをおしつけるように回（まわ）して、よこに8つ、上に1つ穴（あな）をあけよう。切（き）りとった丸（まる）い部品（ぶひん）は、宇宙船（うちゅうせん）の足を固定（こてい）するときにつかうので捨（す）てないでね。



- 2 (1)と同（おな）じょうにして、スチロール皿（ざら）からも、直径（ちよっけい）3cmと直径（ちよっけい）4cmのボトルキャップをつかってそれぞれ8つの円板（えんばん）を切（き）り取る。これは、宇宙船（うちゅうせん）の足をつくるときにつかうよ。



- 3 ストロー8本を13cmに切（き）る。そして、図（ず）のように下から1cmのところを折（お）って油性（ゆせい）ペンでしるしをつけて、切（き）りこみを入れて十字（じゅうじ）に広（ひろ）げる。



- 4 スチロール皿（ざら）から切（き）りとった直径（ちよっけい）3cmの円板（えんばん）の真ん中（まんなか）に、ストローをとおすための穴（あな）をあける。ストローの太（ふと）さにあわせて油性（ゆせい）ペンでしるしをつけて、カッターをたて・よこにさすようにして四角（しかく）く切（き）りとろう。



- 5 小さい円板（えんばん）にストローをとおして、ストローの広（ひろ）げた部分（ぶぶん）と大きい円板（えんばん）に「ボンドウルトラ多用途（たようと）S・Uクリヤー」をつける。そして、2つの円板（えんばん）でストローをはさめば宇宙船（うちゅうせん）の足が完成（かんせい）。接着剤（せっちゃくざい）がかわくまで、せんとくばさみでとめておこう。



宇宙船（うちゅうせん）にアンテナと足をつける

- 1 このりの2本のストローを短（みじか）く切（き）り、宇宙船（うちゅうせん）の足と同（おな）じようにしてアンテナをつくる。まず、カップめんの容器（ようき）に、ストローをとおすための2つの穴（あな）をあける。そして、ストローをとおし、容器（ようき）の裏（うら）から、余（あま）ったスチロール皿（ざら）を小さく切（き）ったものを「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」でつける。



接着剤（せっちゃくざい）がかわくまで、せんたくばさみでとめておこう。

- 2 もう1つのカップめんの容器（ようき）に、同（おな）じようにしてストローでつくった足をつける。宇宙船（うちゅうせん）がバランスよく立つように、足は図（ず）のような位置（いち）につけよう。また、容器（ようき）の裏（うら）から、最初（さいしょ）に切（き）りとった円板（えんばん）を「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」でつける。宇宙船（うちゅうせん）の足（あし）となるのでしっかりつけて、接着剤（せっちゃくざい）がかわくまでせんたくばさみでとめておこう。



写真（しゃしん）のように、大きいせんたくばさみをつかうととめやすいよ。

宇宙船（うちゅうせん）をかざる

- 1 直径（ちよっけい）3cmのアルミのボトルキャップ4つを、足のついたほうの容器（ようき）におしつけながら少（すこ）しねじこみ、「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」でつける。このとき、キャップをおしつけすぎると容器（ようき）に穴（あな）があくことがあるので気をつけよう。



- 2 2つの容器（ようき）とストロー全体（ぜんたい）に、こげ茶色（ちゃいろ）のスプレー塗料（とりょう）をかける。このとき、よごれないように、ビニール手ぶくろをして段（だん）ボール箱（ばこ）の中（なか）でスプレーをかけよう。そして、風通し（かぜとおし）のよい場所（ばしょ）におき、1時間（じかん）くらいかわかしておく。ところどころに金色（きんいろ）のスプレーをかけると、かがやいて見えるよ。



- 3 足のついていないほうの容器（ようき）に、ゴムボールをつかって宇宙船（うちゅうせん）の目と鼻（はな）をつくる。まず、黄色（きいろ）のゴムボールを半分（はんぶん）に割（わ）り、容器（ようき）に「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」でつける。容器（ようき）の裏（うら）からも「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」をつけておこう。鼻（はな）は、2つの目の間（あいだ）に小さな穴（あな）をあけ、ちがう色（いろ）のゴムボールをつける。バランスをとるために、容器（ようき）の反対側（はんたいがわ）にも目と鼻（はな）のボールをつけよう。



ゴムボールのすじにそって、
カッターを3〜4か所に
さして割る



鼻の穴

- 4 容器（ようき）ののこった穴（あな）に「ボンド 木工用（もっこうよう）」をつけて、セロハンをはる。セロハンは、穴（あな）よりひとまわり大きく切（き）って容器（ようき）の裏側（うらがわ）からはろう。



- 5 電池（でんち）ボックスにつないだ豆（まめ）でんきゅうを図（ず）のようにセットして、「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」で容器（ようき）の上につける。導線（どうせん）が長（なが）いときは、丸（まる）めたり、電池（でんち）ボックスにセロハンテープでとめたりしよう。



- 6 2つの容器（ようき）を「ボンド ウルトラ多用途（たようと） S・U クリヤー」でつければできあがり。下の容器（ようき）は、「ボンド アロンアルファEXTRA速効多用途（そっこうたようと）」をつかってラインストーンなどでかざろう。電気（でんき）がつくだけでなく、足を上げれば水（みづ）にうくこともできる、ゆかいな宇宙船（うちゅうせん）だよ！



※水（みづ）にうかべて激（はげ）しく動（うご）かしたり、
上（うへ）からたくさんのお水をかけたりすると、
接着（せっちゃく）した部分（ぶぶん）がとれることがあるので気（き）をつけよう。